

「農業の楽しさを知り、きゅうり栽培に挑戦」



渡邊 康友 (36 歳)
(伊予市)

新規参入

1 就農の動機・理由

会社員時代、通勤路沿いの農家さんが作業中や休憩中にいつも和気あいあいとしているのを見て、楽しそうだと思っていた。自分も農業をやってみようと思い立ち、農業法人に就職したところ、こんなに楽しい仕事はないと感じた。そのうち独立して自分で経営したいという思いが強くなり、就農を志した。

管理機	1 台
動力噴霧機	1 台
軽トラック	1 台
箱バン	1 台

2 農業経営の概要

○経営の展開

項目	就農時の経営 (令和2年)	現在の経営 (令和5年)	将来の経営 (令和8年)
労働力	男1人(本人) 補助1人(母)	男1人(本人) 補助1人(母)	男1人(本人) 補助1人(母)
経営耕地	畑 59 a	畑 59 a	畑 59 a
経営内容	夏秋きゅうり 5a レタス 20a	抑制きゅうり 9.7a 半促成きゅうり 9.7a	抑制きゅうり 12a 半促成きゅうり 12a

○農業用施設

農業用倉庫	1 棟
APハウス	13 a

○主要農業機械

トラクター	17ps	1 台
-------	------	-----

3 あしあと

(1) 就農までの主な経歴

出身地 伊予市
職歴 会社員、農業法人勤務
就農研修歴
JA えひめ中央
(H30. 5. 30～R2. 5. 29)
就農年月 令和2年5月

(2) 就農時の思い

不安よりも楽しみの方が大きかった。きゅうり栽培を自分でやってみて、施設で限られた面積の中でも、手をかけて良いものを作れば、所得が上がることを実感。自分に合った品目だと感じていた。

4 就農時の取り組み

(1) 技術の習得

J A えひめ中央新規就農研修センターの野菜コースで2年間の研修を受け、基礎的な技術を身につけた。他にも、地元の先輩農家が時折様子を見に来てくれた時に相談したり、種苗会社に圃場を見に来てもらったり連絡を取って情報を聞くなどしている。

(2) 資金の準備

HP等で情報を調べ、関係機関に相談した。新規就農者総合育成対策の就農準備資金と経営開始資金を活用している。

(3) 農地・住宅の確保

農地の確保については、普及機関に相談したところ、地元の営農組合を紹介してもらった。そこから農地を紹介してもらい、確保することができた。

また倉庫は、大工をしていた祖父の仕事用倉庫を借りた。

(4) その他苦労したこと

きゅうりは栽培技術が求められる品目であるため、経験の浅いうちは、栽培管理に苦労した。試行錯誤を繰り返し、種苗会社や関係機関から情報収集しながら生産に取り組んだ。

5 農業経営の特徴

昔からいわれる基本的な栽培管理を忠実に守りつつ、常に新しい情報を収集し取り入れている。また、きゅうりは1日あたりの労働時間が長い品目であるため、作業や選別の動線に無駄をなくし、少しでも効率的に作業できるように工夫している。

6 これからの夢

法人化して大規模な経営を目指したい。法人経営に際しては、社員が成長でき働きやすい会社を作りたいと考えている。

7 成功したキーポイント

タイミングよく農業用ハウスの空きが見つかったことが大きかった。関係機関

などによく連絡をとり相談していたため、紹介してもらうことができた。また経営において、品目等を継続するか切り替えるのかの判断を素早く行えたことがよかったのではと思う。

8 就農を目指す方へのアドバイス

日々を楽しむことが大事だと思います。基本的なことですが、周囲の人へのあいさつやコミュニケーションを大事にすることが大切だと思います。

○ 指導機関からのひとこと

渡邊さんは栽培技術向上の意識が高く、よく観察し、日々コツコツと農業に取り組んでおられます。今後も地域の担い手として、新規就農を志す方の見本となるような経営をされることを期待しています。

執筆機関

中予地方局地域農業育成室
伊予農業指導班
電話番号 0899-82-0477



きゅうりの土づくり作業